

平成25年9月吉日

青年部会員 各位

広島商工会議所青年部  
会長 松田 哲也  
先進技術研究委員会  
委員長 丸 亀 慎 爾

広島商工会議所青年部 10月例会の開催について  
(ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

Q.商工会議所青年部にどんなことを期待して入会しましたか？

A.仕事上のネットワークを求めて・・・33%

仲間作り・・・29%

交流を通じた自己研鑽・・・28%

etc・・・

**皆様のこの期待、10月例会で私ども先進技術研究委員会に叶えさせて下さい！！**

テーマは「繋がる 企業と大学」！内容は大学と企業間の委託研究や共同研究について、その方法や実例、助成金等を紹介します。

例えば、にしき堂のもみじ饅頭のパッケージ。これはにしき堂が広島大学に依頼をし、新たに生まれ変わりました。タニタの社員食堂のようなヘルシーメニューも大学に依頼できます。

大学は決して敷居の高い存在ではありません。

皆様が会社の成長を考えていく上で必要となる、新商品開発やリニューアルなどの「イノベーション」。それには皆様自身が自らの知識や経験に基づきイマジネーションする、或いは専門企業に依頼をする等の方法が考えられると思いますが、**そこに大学を加えてみませんか？**

先進技術研究委員会では皆様に、



大学で行われている研究がもっと身近で役立つものだと実感してほしい。



大学の研究シーズを聞き、どう「ひらめき」どう「イマジネーション」したら、「イノベーション」につながるかの実例を学び、皆様の知識にしていきたい。



各大学の研究室と企業をつなぐ「産学連携センター」の方々や各教授とのネットワークづくりをしていただきたい。

と考えております。

きっとプラスになります！！是非ご参加お願いします！！

敬具

## 記

日 時 平成25年10月24日(木) 18:15~21:30  
講演会 18:15~20:25 懇親会 20:30~21:30

場 所 グランドプリンスホテル広島 2階「瀬戸内」講演会  
2階「瀬戸内」懇親会  
講演会と懇親会の会場は隣接会場です。

内 容 テーマ「繋がろう、企業と大学」

基 調 講 演：公立大学法人県立広島大学 地域連携センター  
西川 洋行(ニシカワ ヒロユキ)准教授

研 究 発 表：公立大学法人県立広島大学 人間文化学部 健康科学科  
西田 由香(ニシダ ユカ)准教授

相談窓口紹介：公立大学法人県立広島大学 地域連携センター  
地域連携センター長 中谷 隆(ナカヤ タカシ)教授

研 究 発 表：国立大学法人広島大学 教育学研究科 造形芸術教育学講座  
江崎 哲(エサキ アキラ)教授

相談窓口紹介：国立大学法人広島大学 産学・地域連携センター  
産学・地域連携センター 副センター長兼  
国際・産学連携部門長 橋本 律男(ハシモト リツオ)教授

研 究 発 表：近畿大学工学部 ロボティクス学科 ロボット制御研究室  
友國 伸保(トモクニ ノブヤス)講師

相談窓口紹介：近畿大学 次世代基盤技術研究所  
社会連携センター長 江口 知之(エグチ トモユキ)客員教授

研 究 発 表：広島工業大学 工学部 電子情報工学科  
浅野 敏郎(アサノ トシオ)教授

相談窓口紹介：広島工業大学 共同研究機構  
産学連携推進センター長 土取 功(ツチトリ イサオ)教授

施 策 等 紹 介：中国経済産業局 地域経済部  
産学官連携・産業クラスター担当  
安 部 努(アベ ツトム)氏

登録料 5,000円(当日受付にて申し受けます)

キャンセルされる場合は3日前までにご連絡下さいますようお願いいたします。  
以降のキャンセルにつきましては、会費徴収させていただくことがございますので  
ご了承下さい。

出欠回答は、10月4日(金)までに事務局宛ご返信下さい。  
(出欠の如何に関わらず必ずご返信下さい)

懇親会では酒類を供しますので、ご本人運転のお車でのご来場はお控えいただきま  
すようお願いいたします。但し、都合上**お車でお越しの際は無料駐車場がございま  
すので、受付にてお申し出下さい。**

広島商工会議所では、地球温暖化防止のための環境行動の一環として、5月13日  
～10月31日の間、夏の軽装運動を実施しております。趣旨ご理解の上、軽装で  
ご出席いただければ幸いです。

当日はグランドプリンスホテル行きの貸し切りマイクロバスを2台運行いたします。  
商工会議所ビル東側より2台(17:00発)時間厳守をお願いいたします。  
尚、定員54名先着順です。

また、広島駅新幹線口より一般利用の無料シャトルバスがスワロートラベル広島店  
前より運行されています。

**JR広島駅新幹線口(北口)⇄グランドプリンスホテル広島直行  
無料シャトルバス運行開始**運営/中国ジェイアールバス

2013.4.1現在

■運行時刻表<2013年7月6日(土)～2013年9月29日(日)>

広島駅⇄グランドプリンスホテル広島		グランドプリンスホテル広島⇄広島駅	
広島駅 新幹線口北口(発)	グランドプリンス ホテル広島(着)	グランドプリンス ホテル広島(発)	広島駅 新幹線口北口(着)
8:10	8:35	9:50	10:15
10:20	10:45	11:00	11:25
15:00	15:25	15:40	16:05
16:20	16:45	17:05	17:30
17:40	18:05	18:20	18:45
◎19:00	19:25	19:40	20:05

■運行時刻表<2013年9月30日(月)～2014年3月31日(月)>

広島駅⇄グランドプリンスホテル広島		グランドプリンスホテル広島⇄広島駅	
広島駅 新幹線口北口(発)	グランドプリンス ホテル広島(着)	グランドプリンス ホテル広島(発)	広島駅 新幹線口北口(着)
9:10	9:35	9:50	10:15
10:20	10:45	11:00	11:25
15:00	15:25	15:40	16:05
16:20	16:45	17:00	17:25
17:40	18:05	18:20	18:45
◎19:00	19:25	19:40	20:05

●広島駅南口A-2のりばからは、路線バス(広島/21-1,21-2号線)  
「グランドプリンスホテル広島行」が便乗しております。

◎19:00(広島駅発)便をご利用のお客さまは、スワロートラベル広島店  
営業終了後のため、店の前にご集合ください。乗務員がお迎えに参ります。

※ホテル到着後のチェックインは混み合う場合がございます。  
※ダイヤは改定する場合がございます。  
※交通事情により遅れる場合がございます。  
※満席の場合はご乗車にならない場合もございます。

お帰りのバスについては先着順(2台・54名)で、八丁堀経由広島駅までお送り  
させていただきます。

(事務局) 広島商工会議所 中小企業振興部(担当:吉岡)  
TEL 082-222-6661 FAX 082-222-6006  
E-mail yeg@hiroshimacci.or.jp

以上

【広島商工会議所 中小企業振興部 吉岡宛 FAX：082-222-6006】

(広島商工会議所青年部 10月例会)

10月24日(木) 18:15~21:30

講演会 18:15~20:25

懇親会 20:30~21:30

出 欠 連 絡

講 演 会

ご 出 席 ・ ご 欠 席

懇 親 会

ご 出 席 ・ ご 欠 席

ご出席の方 貸切マイクロバスの利用(商工会議所東側発)

利用する ・ 利用しない

会社名 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

## 研究発表者プロフィール

【公立大学法人 県立広島大学 西川 洋行（ニシカワ ヒロキ）准教授】

「県立広島大学 地域連携センター 准教授」

1968年8月 和歌山県生まれ。

東京大学大学院理学系研究科（化学専攻）にて博士（理学）取得後、京セラ（株）に就職。総合研究所、中央研究所にて研究職として勤務後退職、九州大学にて産学官連携業務に関わる。大分大学地域共同研究センター（現産学官連携推進機構）准教授を経て、2012年4月より現職。

現在は、地域や企業・団体と大学（教員）との間の繋ぎ役・調整役（＝コーディネータ）として産学官連携業務に従事する傍ら、産学官連携を社会科学的な視点でその実態を明らかにすべく調査研究を行っている。現在実施中の県内自治体からの依頼による産業振興に向けたシンクタンクの調査事業では、事業担当者としての立場にとどまらず、産学官連携研究者の立場にも立ち、これまでの調査研究の成果を活かして業務に当たっている。

実務者として；企業、自治体、各種団体等からの相談、依頼、要請等への対応  
自治体との連携体制の運用、連携事業の企画、運営等

研究者として；産学官連携に関する調査研究

イノベーションやビジネスモデル、産業構造等に関する研究  
（研究・技術計画学会及び大学等技術移転協議会会員）

の2足の草鞋を履く日々を送っている。



【公立大学法人 県立広島大学 西田 由香 (ニシダ ユカ) 准教授】

「県立広島大学 人間文化学部 健康科学科 准教授」

博士 (栄養学), 管理栄養士

管理栄養士・栄養教諭養成課程の専門科目「臨床栄養学」の講義を担当。

健康増進や病気の治療に効果的な栄養療法を開拓するために,栄養素の代謝や時間栄養学を応用した基礎研究を行っている。

【経歴】

広島生まれ。広島女子大学 (現: 県立広島大学) 食物栄養学科を卒業後, 高校の家庭科非常勤講師 (1年間) の後, 病院の管理栄養士として高齢者や嚥下障害者の栄養管理に携わる (6年間)。その後, 徳島大学大学院栄養生命科学教育部博士後期課程に進学し, 安田女子大学講師 (3年間) を経て平成 21 年より現職に至る。

【これまでの共同研究・連携等】

共同研究

- ・ 時間栄養学と体型変化に関する基礎研究 (株式会社ダイアナ)
  - ・ 野菜の最適な摂取タイミングに関する研究 (カゴメ株式会社)
- 監修など
- ・ 日本ガス協会 HP (食育知っ得クイズ)
  - ・ 広島ホームテレビ HP (旬の食材とおすすめレシピ) など



【国立大学法人 広島大学 江崎 哲 (Ezaki Tetsu) 教授】

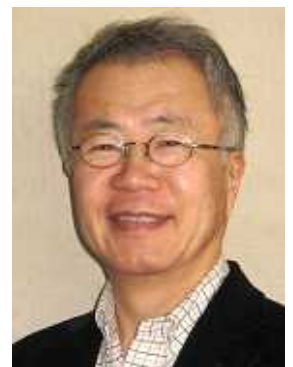
「広島大学 教育学研究科 教授」

1950 年、奈良市生まれ。京都市立芸術大学美術学部デザイン専攻卒業後、シャープ株式会社総合デザイン本部に勤務。神戸山手女子短期大学表現芸術学科の教授を経て、2003 年より広島大学大学院教育学研究科の教授、現在に至る。

商品の企画、開発、デザインが中心であるが、現在にはにしき堂を始めとする広島県内の企業のパッケージデザインも数多く手がけている。またデザイン活動以外にも 1989 年に奈良商工会議所青年部と奈良青年会議所の協力を得て「奈良市民祭り」を立ち上げる。その後 1999 年には「奈良市民祭り」に代わる夏祭り「バサラ祭り」を、行政や既存組織には頼らずに有志で立ち上げ、現在はその NPO 法人バサラ衆の会長。

主な受賞:

- ・ 1978 年 毎日 ID 賞 (毎日新聞社) 「通勤交通システムのデザイン」 特別賞
- ・ 1980 年 「卓上電子計算機 シャープ EL-8152」 ニューヨーク近代美術館パーマネントコレクション選定
- ・ 1988 年 奈良グッドデザイン展 「木製遊具ゆらつきんぐ」 奈良県知事賞
- ・ 1991 年 全国木工品クラフト展 (農林水産省) 「木製遊具ゆらつきんぐ」 林野庁長官賞
- ・ 1991 年 新日軽ドア・デザイン・コンペティション 「ドアのシステム」 最優秀賞
- ・ 1992 年 第 1 回車椅子デザイン・コンペティション 「電動車椅子」 銀賞
- ・ 1993 年 第 6 回国際デザイン・コンペティション 「風力発電機 電棒」 入選
- ・ 1993 年 輪島漆器デザイン・コンペティション 「ピアグラス」 金賞
- ・ 1998 年 富山インダストリアルデザイン・コンペティション 1998 「バス・ツール」 優秀デザイン賞 (部門 1 位)
- ・ 2000 年 平城京 1300 年の夢アイデア・コンペティション 「最先端テクノロジーで白日夢の平城京に遊ぶ」 佳作
- ・ 2002 年 近未来サイクル及び夢の自転車研究開発事業 (朝日放送) おもしろい乗り物部門 「恐竜自転車 Wawoh!!」 最優秀賞
- ・ 2005 年 # 「ローリングサイクル」 優秀賞
- ・ 2008 年 平成 20 年関西文化圏賞 「まんとかんとせんとくんの一連の活動」 ニューパワー賞



## 【近畿大学 友國 伸保 (トクニ ノブヤス) 講師】

「近畿大学 工学部 ロボティクス学科 講師」

1973年，香川出身。

横浜国立大学大学院 工学府 システム統合工学専攻 博士課程後期修了後，産業技術総合研究所 知能システム研究部門 に勤務。

東京大学 IRT 研究機構 を経て 2010年より学校法人 近畿大学工学部 ロボティクス学科の講師。専門分野はメカトロニクス，制御。

ロボットを構成する電子回路，機構などのハードウェア部分と力制御，バランス制御など，ロボットの運動制御を実現するソフトウェアの両方について研究。

主な研究内容：

- ・ DD(ダイレクトドライブ)モータを用いたマニピュレータの制御
- ・ 電磁誘導原理を用いた触覚センサの開発
- ・ 小型ヒューマノイドロボットの力制御 (コンプライアンス制御)
- ・ モータ電流計測に基づくモータトルク制御と実時間多モータ連動制御システムの開発
- ・ RF タグを用いた図書片付けロボット
- ・ 家庭内物品を移動ロボットにできるアクティブキャスタ
- ・ 倒立二輪移動機構を用いた個人用移動ロボット(PersonalMobilityRobot)
- ・ 倒立二輪移動機構を用いた階段昇降ロボット



## 【広島工業大学 浅野 敏郎 (アサノ トシオ) 教授】

「広島工業大学 工学部 電子情報工学科 教授」

専門分野：画像工学

略 歴：

1974年3月大阪市立大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了。

同年(株)日立製作所入社。同社生産技術研究所において、工業用画像認識、ディスプレイ画質の自動評価、知識情報処理の研究に従事。

2000年広島工業大学工学部教授。画像応用技術の研究に従事。工博。

広島県画像処理活用研究会(2008~2011)会長。

電子情報通信学会中国支部長(2013年度)。

電子情報通信学会、電気学会、精密工学会、IEEE、SIDなどの会員。



## 大学での研究 商品化実例

### 大学での研究「画像認識」

ケース1・・・スバルの開発者はこの「画像認識」の技術を応用し、危険を察知すると車が自動的に止まるアイサイトという商品を開発しました。

ケース2・・・ある農家はこの「画像認識」という技術を応用し、外敵のイノシシを発見すると獣の嫌がる赤外線を照射し撃退する商品を開発しました。

このように同じ研究内容でも見る人が違えば「ひらめき」方も違い、誕生する商品も様々だという実例です。

### 大学での研究「カリグラフィ（装飾文字）」

応用実例・・・ステーブジョブズは大学の講義でこのカリグラフィを受講していましたが、それから10数年後、この講義内容が蘇り、マッキントッシュというパソコンを開発する際、「フォント」という複数の文字を使用できるように開発しました。このように過去に学んだ大学での基礎研究が、新商品に役に立ったという実例です。

### 大学での研究「合成化学」

応用実例・・・木の素材を使った商品ができないかという企業の依頼から、天然の木に樹脂を浸透させ0.2mm～0.55mmの厚みに加工した、折ったり縫ったりも出来る天然木自在シートを共同開発しました。バッグや携帯カバーなどの商品に使われています。

この企業は技術の知識も持たず、ただ木のバッグを作りたいというイメージだけで、大学に共同開発依頼をし、特許を取得、商品開発に成功したという実例です。

### 大学での研究「医療系薬学」

ケース1・・・健康維持成分として注目されているGABAという自然界に広く存在するアミノ酸の一種を含有した「GABA RICH 梅酒」を共同開発しました。

ケース2・・・従来のヨーグルトや乳酸菌飲料，野菜ジュースに対し，より強い整腸作用，肝機能改善，免疫機能向上等の機能性効果が期待される実感型の機能性飲料「飲む、植物乳酸菌」を共同開発しました。

2つとも広島大学の同じ研究室と共同開発した広島企業の商品で、身近な商品化実例です。